

千年寺院 專称寺 宝物展

SENSHOJI TREASURE EXHIBITION

開基千二百年記念

浄土宗開宗八百五十年慶讃「寺ギヤラ」企画

受け継がれる千二百年の想い。

2024年11月9日[土]ー17日[日]

専称寺ギャラリー三蔵堂 [多久市多久町2158番地]

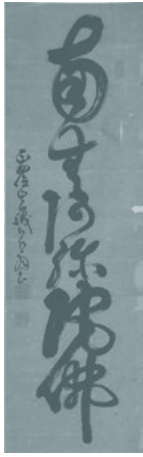
入場無料

| 開館時間 | 9:00ー17:00 [入館は16:30まで]

| 問い合わせ先 | mail@senshoji.jp TEL0952-75-2440

千年寺院 専称寺 宝物展

山岡鉄舟書一紙本墨書・明治時代



パドマパーニー一杉本哲郎筆 絹本着色 一九五五年



浄土曼荼羅一観無量寿経変相図一紙本着色・江戸時代18世紀



十王図 五道轉輪王本地彌陀



雲板 | 青銅製 應永十六年〔一四〇九年〕



双鶴図 | 絹本着色・江戸時代



涅槃図 | 絹本着色・江戸時代

千年寺院 専称寺の歴史

浄土宗。本尊は阿弥陀如来。はじめ下多久の平瀬(現南多久町)に建立され、前多久氏が来てからは多久太郎宗直より五代の間菩提寺となり、宗直が上多久の梶峰山に城を築いたとき(建久2年=1191)、この寺も現在地に移ったと伝えられる。開山は平安初期大同2年(807)、行基菩薩と伝えられ、当初は天台宗であったが、弘安年中(12世紀)一遍がこの地を訪れたときしばらく居住し時宗に改めた。のち南里の正定寺開山の満恵の弟子暁誉が中興の祖となって、慶長十四年(1609)浄土宗開山とされている。近世後期で「境内一丁十九歩、除地寺領高七石五斗」(丹邱邑誌)。時鐘を宝暦元年(1751)からはこの寺で鳴らすようになった。近世には末寺が延寿寺のほか五寺。境内に子安観音堂がある。本堂は文政11年(1828)8月10日の大風で吹き倒され、天保の初め(1833)再建。境内には、江戸初期のものと思われる五輪塔のほか、墓地には少弐の墓のほか前多久氏のものと思われる墓碑がある。

少弐資元位牌〔天文五年〔一五三六年〕〕



少弐政資位牌〔明応六年〔一四九七年〕〕



専称寺文書
御家中寺社家由緒書
紙本墨書・江戸時代



阿弥陀如来座像
木造彩色
平安時代10-11世紀



交通のご案内

